

球美乃花 (くみのはな)

生産地:久米島町(安村 清)



平成22年7月10日産まれ 遺伝病8種は全て正常



球美乃花 - 茂隆平 - 安福165の9
肥育 山城畜産
BMS 11 枝重484kg A-5
バラの厚さ9.3cmに加えて枝肉の作りが良く関係者をうならせた

沖縄県の最高傑作種雄牛である「北福波」を青森の名牛「第1花国」の娘牛に掛け合わせて誕生した種雄牛。「北福波」らしい肉質改良に加えて、「第1花国」が有する高い枝肉重量育種価の実現が期待されている。

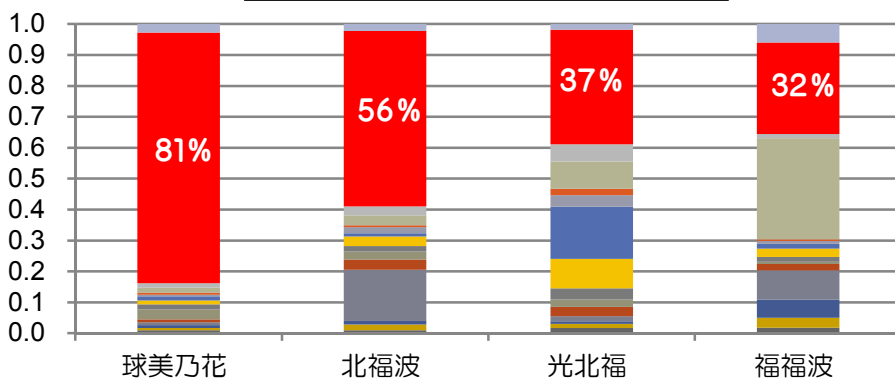
現検調査牛全21頭中5頭において、枝重450kg以上、バラ厚8cm以上なおかつBMS10以上の迫力ある枝肉結果が得られた。

抜群の成績を受け、検定中でありながら沖縄県畜産共進会枝肉部門に3頭が出品され、全てA-5に格付けされた。「球美乃花」の安定した枝肉重量は県内肥育農家にも強く支持されている。

育種価(平成28年3月)

	枝肉重量	ロース	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	脂肪交雑
球美乃花	B 37.5	A 15.9	A 0.87	A -0.84	A 2.97	H 2.57
北福波	C 14.8	A 15.3	A 0.84	C -0.25	A 2.63	H 2.30
福福波	B 36.8	A 10.0	A 0.97	C -0.04	B 1.55	H 2.40
光北福	B 35.9	A 13.7	A 0.84	B -0.47	A 2.35	H 2.28

S14系桜系の血の濃さ(占有割合)



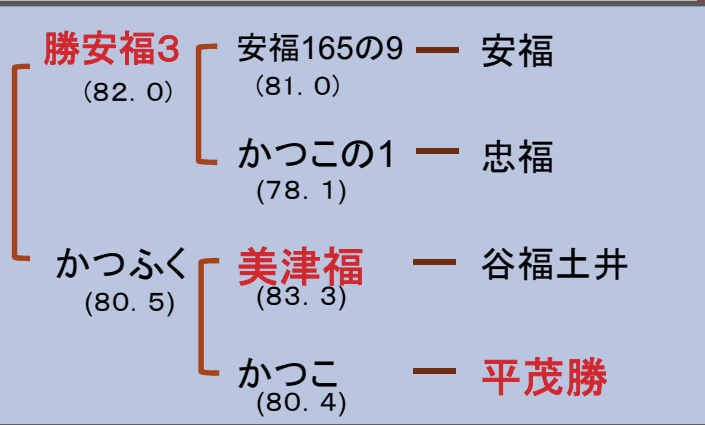
「球美乃花」は枝肉全6形質の育種価で、父「北福波」を上回る初めでの後継種雄牛となる。

血統的にも「系桜系」にグループ化される遺伝的構造集団「S14グループ」の特徴を高頻度で引き継ぐ改良に成功しており、純粋な系桜・藤良系として利用できる。

骨が粗くなる傾向がある姫桜・晴桜2・勝海邦の母牛を除き、気高・田尻系母牛への交配を推奨。

勝美福 (かつみふく)

生産地：南城市(玉城 勝也)



平成22年6月4日産まれ 遺伝病8種は全て正常

「勝安福3」の初の後継牛として「勝美福」を選抜

田尻系で肉質改良能力の高い「安福165の9」を田尻系「忠福」の母牛に掛け合わせて誕生し、第9回鳥取全国和牛共進会第8区で優秀賞を受賞した「勝安福3」の最初の後継牛として「勝美福」が造成され、供用種雄牛に選抜された。

「勝美福」は父「勝安福3」を超えるロース芯面積と脂肪交雑の改良能力を示しており、田尻系らしい枝肉を生産できる反面、枝肉重量の育種価が低いため母牛の能力次第で産子サイズと枝肉重量は大きく上下する傾向がある。

欠点を補うために体積のある「北福波」母牛や気高系統への交配が望ましく、体積はあるが骨の粗い「姫桜」・「晴桜2」・「勝海邦」の母牛の交配候補として有力である。



勝美福
- 北福波
- 北国7の8

肥育
県畜産研究センター

A-5
BMS 12 枝重482kg
ロース芯 65cm²



勝美福
- 21世紀
- 晴姫

肥育
県畜産研究センター

A-5
BMS 10 枝重452kg
ロース芯 56cm²

後代記録数の判明と供用種雄牛への選抜により各種雄牛の級が見直され、平成28年7月1日から価格(税込)が改定されます

勝群星	1,620円(A級)	→	3,240円(特A級)
球美乃花	540円(B級)	→	1,620円(A級)
勝美福	540円(B級)	→	1,620円(A級)

※「球美乃花」、「勝美福」は新規造成牛のため在庫には限りがあります。売り切れなどについてはご了承ください。購買・お問い合わせについては、県内の各家畜保健衛生所まで